



地盤保証システム運用のご提案

地盤調査・改良から
地盤保証LAND_BABEL

株式会社サムシング
株式会社GIR



目次



1. 地盤保証システム概要
2. 業務フロー
3. 業務に関する帳票
4. 各種業務での注意点
5. 地盤技術基準
-地盤調査・地盤改良-
6. お問い合わせ先



地盤保証システム概要



◆保証対象物

墓石

◆保証期間

基礎着工日に始まり、その該当物件が物件所有者に渡された日から10年間

◆保証範囲

1mを超える範囲で10/1,000以上の傾斜が認められた場合

◆基礎仕様

基礎スラブ厚は150mmとし、鉄筋はD13@300以上とする。

◆業者

地盤調査及び地盤改良工事、地盤保証は
(株)GIRが技術的・信用性を考慮し認定した業者とする。

◆保証限度額

一事故500万円

業務フロー



一般社団法人
全国石材施工協会様

(株)サムシング

地盤調査

地盤調査依頼

地盤調査手配

地盤調査実施

改良不要

判定

改良要

受理

調査報告書作成

速報は2営業日以内

設計・見積作成

工事依頼

日程等調整

地盤改良実施

地盤改良

受理

施工審査

改良報告書

地盤保証

保証書発行依頼

受理

保証書発行

(株)GIR

※御社手配

1

<http://www.gir.com.jp>

業務における各種帳票（案）



地盤調査依頼 (株)サムシング宛

帳票名	目的	必要性
調査依頼書	物件名、住所等の情報共有	◎
案内図	現場位置の確定	◎
配置図	調査箇所の決定、周辺の高低差	◎
平面図	建物概要の把握	△
現況図	機械搬入、周辺との高低差	○

地盤設計・改良依頼 (株)サムシング宛

帳票名	目的	必要性
改良工事依頼書	物件名、住所等の情報共有	◎
基礎図・基礎根入れ深度	改良範囲決定・杭頭高さ	◎

地盤保証 (株)サムシング→(株)GIR宛

帳票名	目的	必要性
地盤保証発行依頼書	引渡日の確認による保証開始の記録 物件名、住所等の情報共有	◎
基礎(施工)写真・レベル測定図	保証基準	◎

各種業務での注意点



地盤調査

- ◆現場搬入の希望日、1週間前までにご依頼ください。
- ◆地盤調査及び地盤改良のキャンセル連絡は予定日の3日前の17時までにお願いします。それ以降の連絡は別途損金が発生します。
- ◆出戻りが発生した場合は、別途出戻り料が発生します。
- ◆はつり及び事前掘削及び草刈り、除雪等による作業が必要な場合は別途費用が発生します。
- ◆機材、調査員の搬入に重機等を使用する場合は別途費用が発生します。
- ◆遠方(離島や有料道路使用等)の場合、別途交通費(実費)が発生します。
- ◆標準2ポイントとします。建物の形状、障害物等により
　　予め2ポイント以上の調査をご希望の際は追加料金が発生する場合があります。
- ◆ガラ・礫等によるSWS試験困難なとき、別途地盤調査(ボーリングやラム試験)
　　もしくは撤去後の再調査が発生した場合は別途費用が発生します。

地盤改良

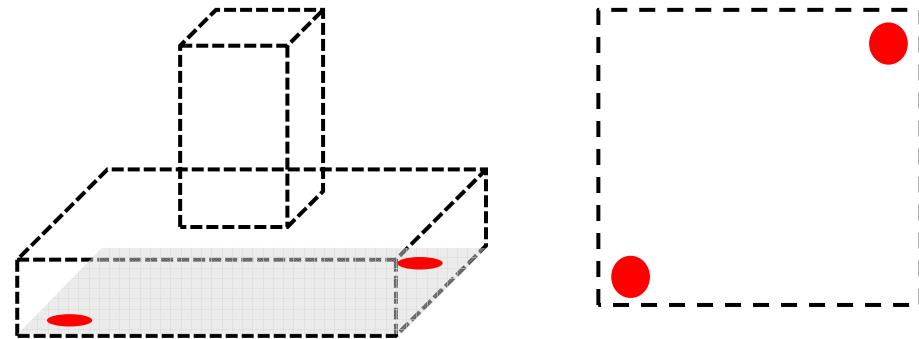
- ◆予期せぬ地盤の変状(地盤の空洞、ガラ等)により改良仕様の変更が発生
　　した場合は追加で施工費用が発生する可能性があります。



技術基準
地盤調查・地盤改良



地盤調査基準



◆地盤調査
スウェーデン式サウンディング試験
2か所

◆判断基準
墓石の重量
1m²あたり、10kN/m²
深度5.00mまでを対象とする



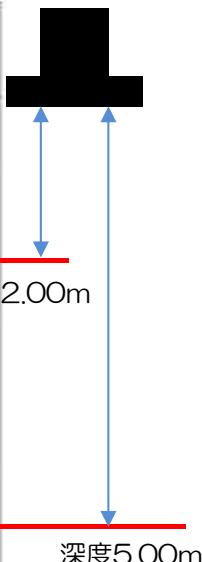
試験深度 m	年月日 年月日	調査時間 時間	測定者 測定者	標高 標高	水位 水位	試験装置 装置	調査者 調査者		測定値 測定値	測定値 測定値
							測定値 測定値	測定値 測定値		
0.00	2020/10/11	01:00 ~ 10:10	吉澤 勉	44.00	0.00	SWD	0.00	0.00	22	22
0.10							21.4	129		
0.20							21.2	22		
0.30							6.2	44		
0.40							3.8	39		
0.50							21.2	22		
0.60							3.8	39		
0.70							21.2	22		
0.80							3.8	39		
0.90							21.2	22		
1.00							3.8	39		
1.10							21.2	22		
1.20							3.8	39		
1.30							21.2	22		
1.40							3.8	39		
1.50							21.2	22		
1.60							3.8	39		
1.70							21.2	22		
1.80							3.8	39		
1.90							21.2	22		
2.00							3.8	39		
2.10							21.2	22		
2.20							3.8	39		
2.30							21.2	22		
2.40							3.8	39		
2.50							21.2	22		
2.60							3.8	39		
2.70							21.2	22		
2.80							3.8	39		
2.90							21.2	22		
3.00							3.8	39		
3.10							21.2	22		
3.20							3.8	39		
3.30							21.2	22		
3.40							3.8	39		
3.50							21.2	22		
3.60							3.8	39		
3.70							21.2	22		
3.80							3.8	39		
3.90							21.2	22		
4.00							3.8	39		
4.10							21.2	22		
4.20							3.8	39		
4.30							21.2	22		
4.40							3.8	39		
4.50							21.2	22		
4.60							3.8	39		
4.70							21.2	22		
4.80							3.8	39		
4.90							21.2	22		
5.00							3.8	39		

地盤調査 判定基準



試験深度		測定 値		調査者		古木 伸	
年 月 日	平成20年10月13日	調査時刻	01:10 ~ 10:10 <th>標 高</th> <td>41</td> <th>-Q-QD</th> <td>10</td>	標 高	41	-Q-QD	10
精度・精度	±0.005m	基 準	±0.005m	水 位	0.0	±0.05m	10
シリアル番号	000127	測定装置	GR-017	試験装置	ジオカルテ	次規	IP
試験深度	測定 値	測定 值	測定 値	測定 値	測定 値	測定 値	測定 値
L	km	m	kgf/cm²	kgf/cm²	kgf/cm²	kgf/cm²	kgf/cm²
0.25	20	0.50	0.0	0	無打穿孔		
0.50	20	1.00	42.0	586	強打穿孔		
0.75	20	0.75	0.0	0	コット打穿孔		
1.00	20	1.00	0.0	24			
1.25	20	1.00	4.0	16			
1.50	20	0.75	0.0	4			
1.75	20	1.00	0.0	8	無打穿孔		
2.00	20	1.00	0.0	24			
2.25	20	1.00	0.0	29			
2.50	20	1.00	1.0	10			
2.75	20	1.00	4.0	16			
3.00	20	1.00	4.0	16			
3.25	20	1.00	4.0	16			
3.50	20	1.00	4.0	16			
3.75	20	1.00	4.0	16			
4.00	20	1.00	2.0	8			
4.25	20	1.00	0.0	12			
4.50	20	1.00	0.0	29			
4.75	20	1.00	4.0	16			
5.00	20	1.00	4.0	16			
5.25	20	1.00	4.0	16			
5.50	20	1.00	5.0	20			
5.75	20	1.00	0.0	276	無打穿孔		
6.00	20	1.00	0.0	34			
6.25	20	1.00	4.0	16			
6.50	20	1.00	3.0	24			
6.75	20	1.00	0.0	29			
7.00	20	1.00	4.0	16			
7.25	20	1.00	4.0	16			
7.50	20	1.00	0.0	32			
7.75	20	1.00	7.0	26			
8.00	20	1.00	0.0	22			
8.25	20	1.00	0.0	44			
8.50	20	1.00	0.0	32			
8.75	20	1.00	0.0	44			
9.00	20	1.00	0.0	44			
9.25	20	1.00	0.0	39			
9.50	20	1.00	11.0	44			
9.75	20	1.00	0.0	49			
10.00	20	1.00	0.0	49			

土質凡例
■ 粘土質
■ 砂質土
■ 粗粒土



判定START

深度2.00m以内に
 $W_{sw} \leq 0.50\text{kN}$ が0.50m以上存在する。
または
深度5.00m以内に換算 $qa \leq 10\text{kN/m}^2$
が存在する

地盤改良
必要

地盤改良
不要

判定例



貫入深さ <i>d</i> (m)	貫入量 <i>L</i> (cm)	荷重 <i>f_{sw}</i> (kN)	半回転数 <i>N_a</i> (回)	1m当り 半回転数 <i>N_{sw}</i> (回)	記事		荷重 <i>f_{sw}</i> (kN)	貫入量1m当り 半回転数 <i>N_{sw}</i>	推定柱状図	推定水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 qa (kN/m)
					音・感触	貫入状況						
25, 50, 75	50, 100, 150, 200, 250											
0.25	25	0.05	0.0	0	無回転急速						-	1
0.50	25	0.05	0.0	0	無回転急速						-	1
0.75	25	0.05	0.0	0							-	1
1.00	25	0.50	0.0	0							1.5	15
1.25	25	0.50	0.0	0	ロッド自沈						1.5	15
1.50	25	0.50	0.0	0							1.5	15
1.75	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.00	25	1.00	1.0	4							3.2	32
2.25	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.50	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.75	25	1.00	3.0	12							3.6	37
3.00	25	1.00	10.0	40	ジャリジャリ						4.6	54
3.25	25	1.00	22.0	88	ジャリジャリ						7.8	82
3.50	25	1.00	66.0	264	ジャリジャリ						19.6	120
3.75	25	1.00	62.0	248	ジャリジャリ						18.6	120
4.00	25	1.00	47.0	188	ジャリジャリ						14.5	120
4.25	25	1.00	66.0	264	ジャリジャリ						19.6	120

貫入深さ <i>d</i> (m)	貫入量 <i>L</i> (cm)	荷重 <i>f_{sw}</i> (kN)	半回 転数 <i>N_a</i> (回)	1m当り 半回転数 <i>N_{sw}</i> (回)	記事		荷重 <i>f_{sw}</i> (kN)	貫入量1m当り 半回転数 <i>N_{sw}</i>	推定柱状図	推定水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 qa (kN/m)
					音・感触	貫入状況						
25, 50, 75	50, 100, 150, 200, 250											
0.25	25	1.00	33.0	132	強打撃貫入						9.6	109
0.50	25	1.00	6.0	24							4.2	44
0.75	25	1.00	2.0	8							3.4	34
1.00	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
1.25	25	1.00	2.0	8							3.4	34
1.50	25	1.00	2.0	8							3.4	34
1.75	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.00	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.25	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.50	25	1.00	0.0	0	ロッド自沈						3.0	30
2.75	25	1.00	0.0	0	無回転急速						11.1	111
3.00	25	1.00	34.0	136	ジャリジャリ						15.9	120
3.25	25	1.00	52.0	208	ジャリジャリ						8.1	85
3.50	25	1.00	23.0	92	ジャリジャリ						14.3	120
3.75	25	1.00	46.0	184	ジャリジャリ						19.4	120
4.00	25	1.00	65.0	260	ジャリジャリ						20.0	120
4.25	25	1.00	101.0	404	ジャリジャリ	強打撃貫入						

地盤改良
必要

地盤改良
不要



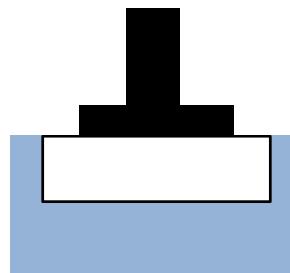
地盤改良



地盤改良

◆地盤調査により地盤改良が必要と判断された場合、以下の工法を主体に弊社、認定店が行うこととします。
施工範囲は狭小が予想されるため、施工機械の搬入が困難な場合が予想されます。
現場状況により工法選定される場合もあります。

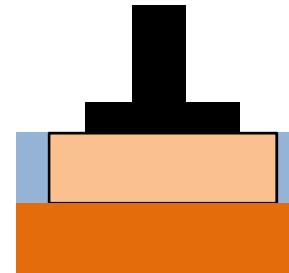
コロンブス工法



【着底基準】

N値5以下 の層が連続した
場合とする

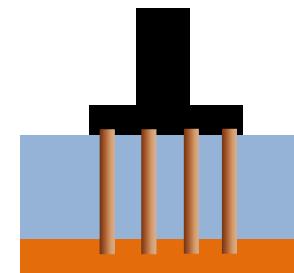
表層改良工法



【着底基準】

2.00mまで
N値5以上 が1m以上続く
層を着底層とする

鋼管杭工法



【着底基準】

Φ114.3 t=4.0mm
N値5以上 が1m以上続く
層を着底層とする

お問い合わせ先



◆会社名

株式会社サムシング埼玉支店

◆担当窓口

宮地

